

作成年月日：令和7年5月15日
作成者：陸上自衛隊高射学校総務部管理課
仕様書番号：2025-20

駐屯地構内道路舗装等工事

件名	駐屯地構内道路舗装等工事	図面番号	1 / 5
図面名称	表紙	縮尺	—

仕 様 書

1 件 名 駐屯地構内道路舗装等工事

2 場 所 千葉県千葉市若葉区若松町902
陸上自衛隊下志津駐屯地内

3 期 間 契約締結日 ～ 令和8年3月31日

4 概 要

- (1) アスファルト舗装157.10㎡補修、区画線等補修、標識移設等、発生土運搬
- (2) アスファルト舗装308.20㎡補修、発生土運搬
- (3) アスファルト舗装180.40㎡新設、区画線等補修、発生土運搬

5 一般事項

- (1) 本工事は、本仕様書・図面及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「土木工事標準仕様書（令和5年度版）」（以下、標準仕様書という。）に基づいて実施する。なお、記載なき事項であっても当然実施を要する箇所は作業を実施する。また、工事に際し、仕様書及び図面に疑義が生じた場合は、監督官と協議し実施する。
- (2) 現場管理及び安全・衛生管理
 - ウ 現場は、常に整理整頓に心掛け、必要に応じ清掃・養生を実施する。
 - エ 施工中は、誘導員を配置し安全管理に努める。
- (3) 受注者は、資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱（国土交通事務次官通達（平成14年5月30日））、建設工事における再生資源の活用について（防整技第7405号。28.4.1（防衛省ホームページ参照））を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。
- (4) 本工事に使用する材料は、材料検査を受けて合格した材料を使用する。
- (5) 工程表の作成提出に当たっては事前に監督官と協議した上で作成し提出する。
- (6) 写真は、着手前、使用材料、各作業工程、隠ぺい等となる部分、完了後及び監督官の指示する箇所を撮影し、写真帳A4に整理して1部提出する。
- (7) 工事用の電力及び清掃に使用する水に関しては原則として請負者側で準備すること。
- (8) 駐屯地内（工事車両内含む）における喫煙は禁止とする。

6 特記事項

- (1) 駐屯地内での作業時間は原則として、平日9時00分から17時00分までとし、土、日、祝日及び時間外の作業は監督官と協議する。

(2) 舗装工事

- ア 本工事において使用する建設機械は、排出ガス対策基準を満たしている機械を使用するものとする。
- イ 施工範囲の切削にあたり、補修の必要性が生じた場合は、監督官と協議した上で指示により補修を行うものとする。

(3) 本工事の施工により発生する指定副産物の処理は、以下のとおり見込んでいます。

項 目	アスファルト コンクリート塊	高炉スラグ
運搬距離	3km	
受入時間帯	8:00～17:00	
受入費用 (円/㎡)	5,600円/㎡	
発生概数量	32.29 m ³ (47.8 t)	267.5 m ³ (695.5 t)
仮置き等の条件	仮置きしない	敷地内運搬
搬入調書等	提出すること	

(5) 発生土は監督官が指定する駐屯地敷地内に運搬を行うこと。

(6) 再生資材の利用

請負者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

名 称	用 途
再生加熱アスファルト混合物	道路舗装の表層材料
再生粒度調整砕石	道路舗装の上層路盤材料
再生クラッシャー	道路舗装の下層路盤材料

(7) 区画線工事

区画線の仕様については、熔融式ガラスビーズ入りとする。

(8) アスファルト舗装終了後の通行車両へのアスファルトプライマー等による汚損を生じさせないよう処置を施すこと。

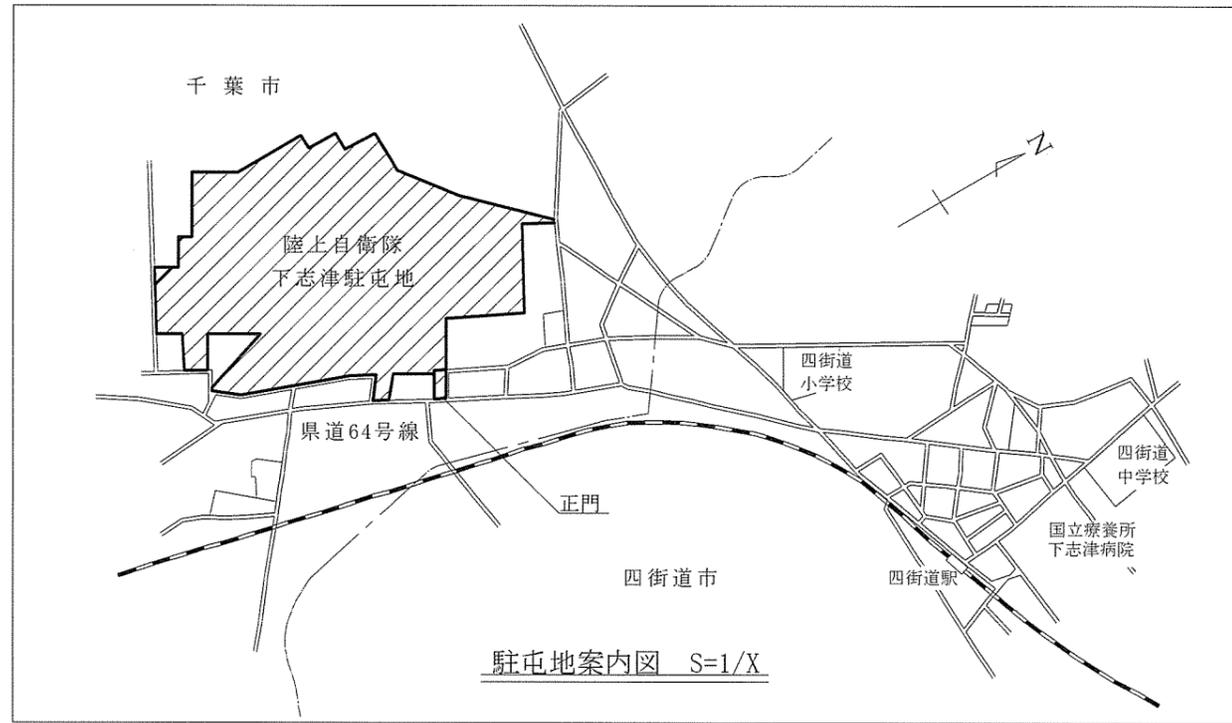
(9) 提出書類は以下のものとし、細部は監督官の指示による。

着手届、完成通知及び完成検査願書、業務責任者等指名・変更通知書、工程表、作業日誌、作業打合せ簿、材料検査簿、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し、作業写真、その他監督官の指示する書類

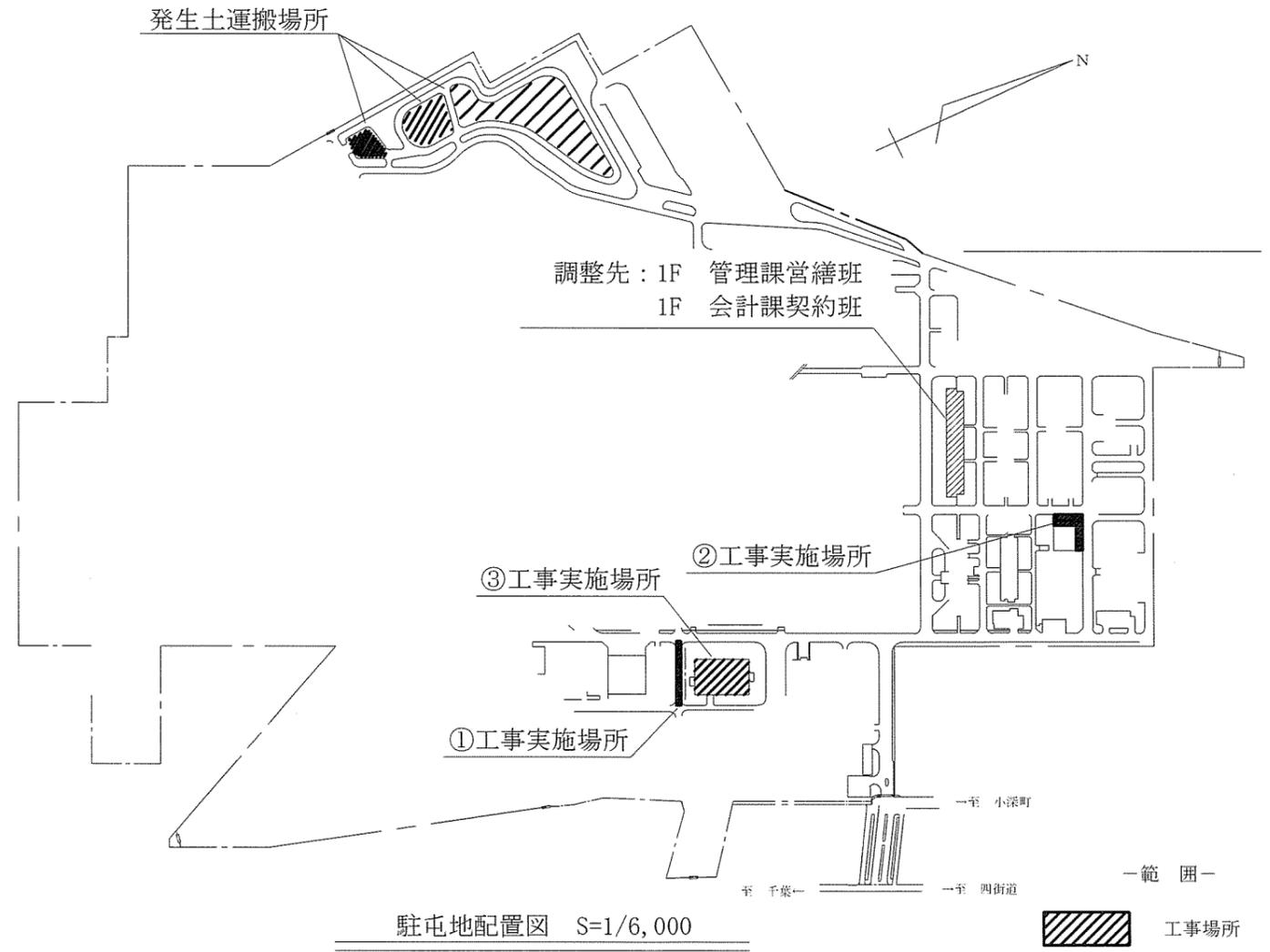
7 検査

完成通知及び完成検査願書、検査（書類検査含む）を受け、合格をもって完了とする。

件 名	駐屯地構内道路舗装等工事	図面番号	2 / 5
図面名称	仕様書	縮尺	—

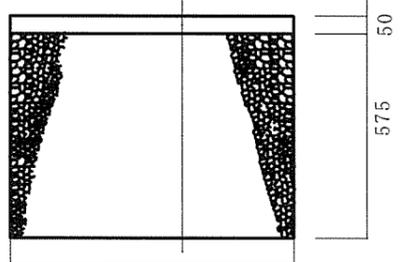


駐屯地案内図 S=1/X



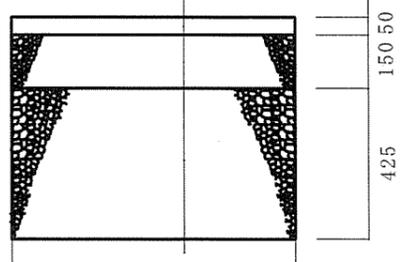
駐屯地配置図 S=1/6,000

表	層：再生改質密粒度アスコン(13)
	撤去 厚：50
路	盤：高炉スラグ
	撤去 厚：575
路	床：不陸修正



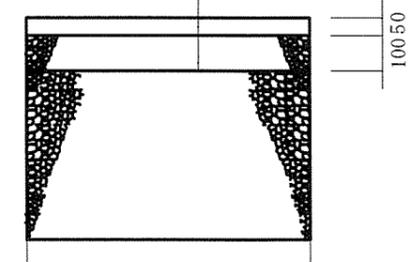
既存舗装断面図 (①・②・③) S:1/20

表	層：再生改質密粒度アスコン(13) 厚：50
	プライムコート：PK-3
	上層路盤：再生粒度調整碎石 RM-30 厚：150
	下層路盤：再生クラッシュラン RC-40 厚：425
路	床：不陸修正



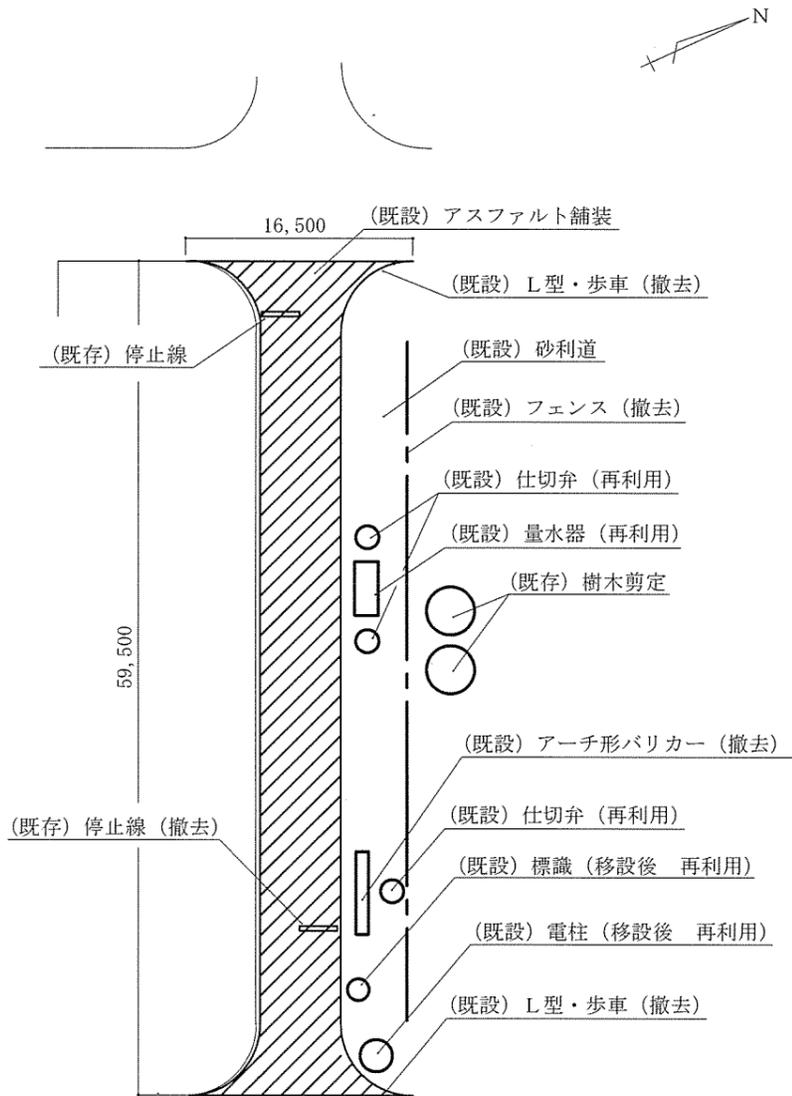
新設舗装断面図 (①・②) S:1/20

表	層：再生改質密粒度アスコン(13) 厚：50
	プライムコート：PK-3
	上層路盤：再生粒度調整碎石 RM-30 厚：100程度
路	床：不陸修正

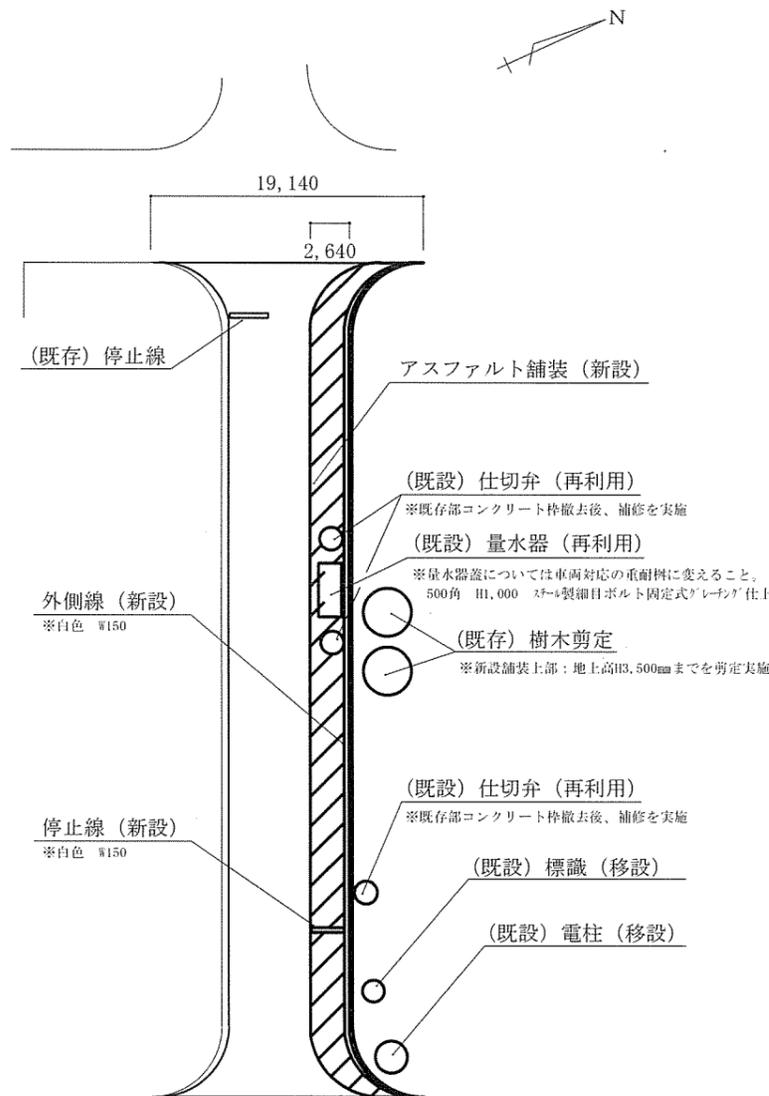


新設舗装断面図 (③) S:1/20

件名	駐屯地構内道路舗装等工事	図面番号	3 / 5
図名名称	案内図・配置図・舗装断面図	縮尺	図示

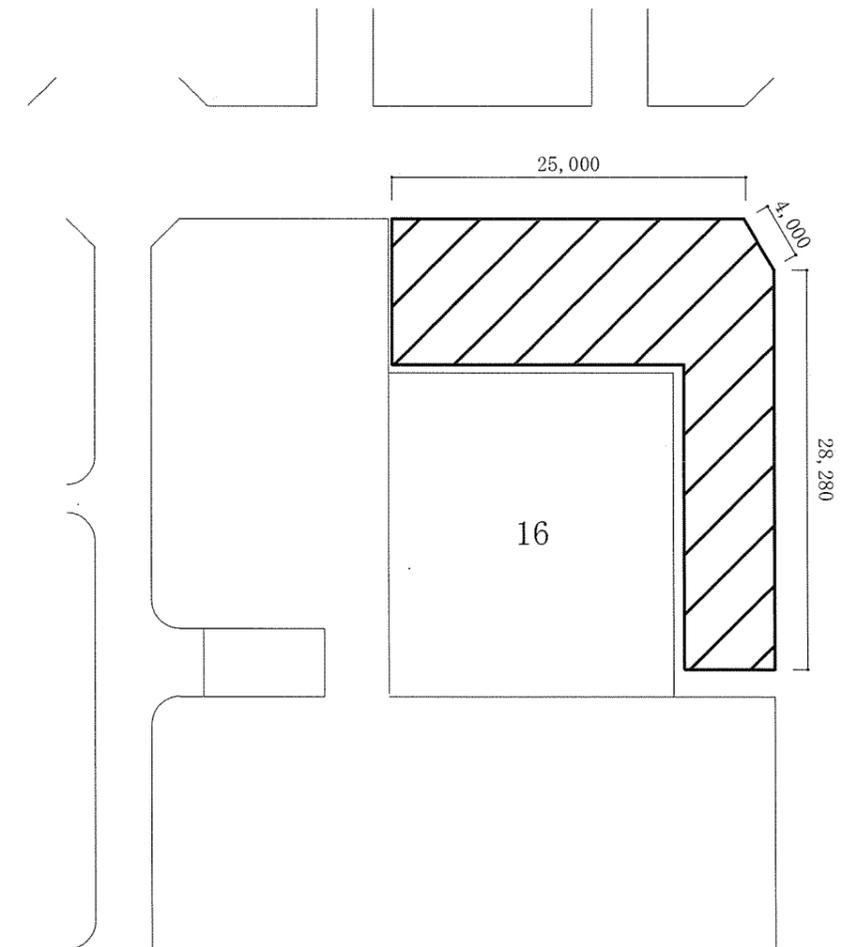


工事範囲① (補修前) 平面図 S=1/500



工事範囲① (補修後) 平面図 S=1/500

(既設) アスファルト舗装 (撤去・新設)



工事範囲②舗装 平面図 S=1/500

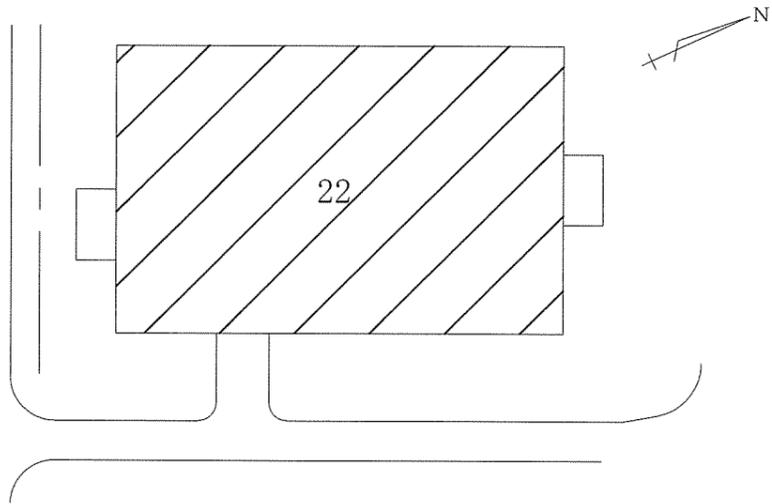
作業内容等一覧表
工事範囲①

表層：(撤去) アスファルト舗装 厚50mm : 157.10㎡	(再利用) 仕切弁高さ調整 : 2箇所
路盤：(撤去) 高炉スラグ 厚575mm : 157.10㎡	(再利用) 量水器 重耐樹仕様へ変更 : 1箇所
表層：(新設) 再生改質密粒度アスコン(13) 厚50mm : 157.10㎡	(再利用) 標識移設 : 1箇所
安定処理剤：(新設) プライムコート PK-3 : 157.10㎡	(再利用) 電柱移設 : 1箇所
上層路盤：(新設) 再生粒度調整砕石 M30 厚150mm : 157.10㎡	(撤去) アーチ形バリカー移設 : 1箇所
下層路盤：(新設) 再生砕石 RC40-0 厚425mm : 157.10㎡	(撤去) ネットフェンス : 59.0m ※基礎含む
不陸整正 : 1式	(撤去) L型・歩車 : 5m
区画線工 : 停止線 白色 W150 (撤去・新設) : 1箇所	(既存) 樹木剪定 : 2本 ※地上高H3,500mm 新設舗装上部
区画線工 : 外側線 白色 W150 (新設) : 1箇所	

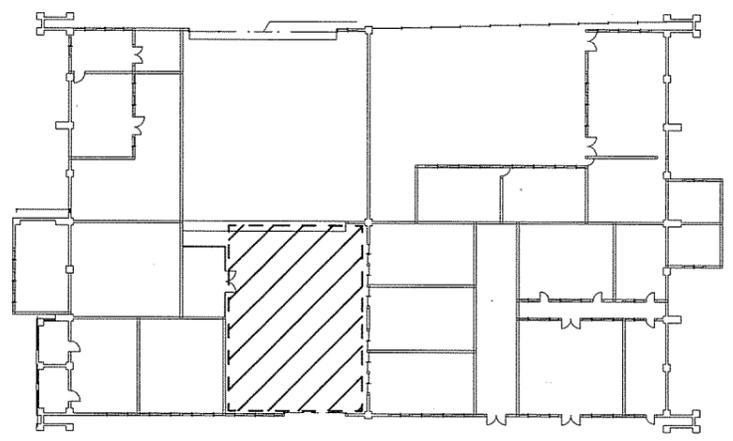
作業内容等一覧表
工事範囲②

表層：(撤去) アスファルト舗装 厚50mm : 308.20㎡
路盤：(撤去) 高炉スラグ 厚575mm : 308.20㎡
表層：(新設) 再生改質密粒度アスコン(13) 厚50mm : 308.20㎡
安定処理剤：(新設) プライムコート PK-3 : 308.20㎡
上層路盤：(新設) 再生粒度調整砕石 M30 厚150mm : 308.20㎡
下層路盤：(新設) 再生砕石 RC40-0 厚425mm : 308.20㎡
不陸整正 : 1式

件名	駐屯地構内道路舗装拡幅等工事	図面番号	4 / 5
図名名称	工事範囲①・② 平面図・作業内容等一覧表	縮尺	図示



工事範囲③舗装 22号建物配置図 S=1/800

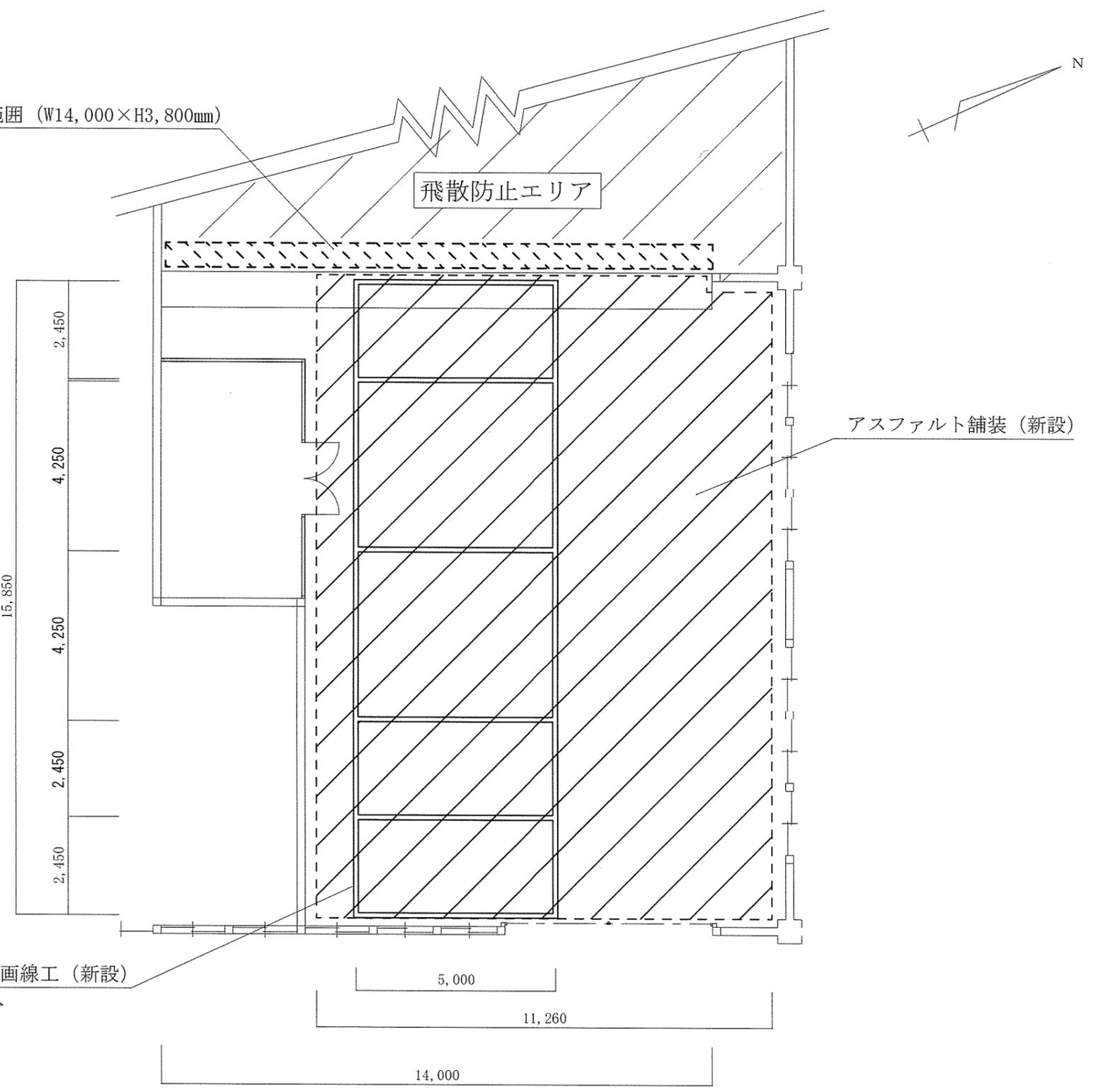


工事範囲③舗装 22号建物平面図 S=1/600

作業内容等一覧表
工事範囲③

- 養生：ブルーシート：3.8m×14.0m=53.20㎡（仮設含む）
- 表層：（撤去）アスファルト舗装 厚50mm：180.40㎡
- 路盤：（撤去）砕石 厚100mm：180.40㎡
- 表層：（新設）再生改質密粒度アスコン(13) 厚50mm：180.40㎡
- 安定処理剤：（新設）プライムコート PK-3：180.40㎡
- 上層路盤：（新設）再生粒度調整砕石 M30 厚100mm：180.40㎡
- 不陸整正
- 区画線工：駐車場用線 白色 W150（新設）：5台分

養生範囲 (W14,000×H3,800mm)



駐車場用区画線工（新設）
※計5台分

工事範囲③舗装 22号建物詳細図 S=1/125

件名	駐屯地構内道路舗装拡幅等工事	図面番号	5 / 5
図名名称	工事範囲③ 配置図・平面図・詳細図	縮尺	図示